

都城市ふるさと納税 平成 28 年度寄附金実績について

「前年度比 1.7 倍 約 73 億円！！」

【平成 28 年度 寄附件数・金額】

- 都城市ふるさと納税にかかる平成 28 年度寄附金は、「約 53 万件、約 73 億円」になる見込みです。
- 昨年同時期（平成 27 年 4 月～3 月）と比較して、「寄附件数で 1.8 倍、寄附金額で 1.7 倍」となっています。



【過去の寄附額の年度比較】

- ・平成 26 年度 28,653 件 499,823,136 円（総務省発表値）
- ・平成 27 年度 288,338 件 4,231,233,673 円（総務省発表値）
- ・平成 28 年度 約 53 万件 約 73 億円（都城市速報値）

【都城市のふるさと納税寄附状況】



○「肉と焼酎のふるさと・都城市」の対外的なPRを目的として推進

・お礼の特産品は、約 380 種類中、肉 209 種類、焼酎 100 種類で、平成 26 年 10 月のリニューアル当初から方向性を変えず、「肉」と「焼酎」を中心に本市をPRしています。

・当市のお礼の特産品は都城産を原則としているため、ほぼ 100%、地元還元しています。なお、人気の特産品はやはり「肉」と「焼酎」です。

○寄附者情報について

・1 件当たりの寄附金額は、10,000 円以内が全体の 84.2%と大半を占め、20,000 円以内だと全体の 95.0%を占めます。

- ・寄附者のエリアは首都圏が最も多く、1 都 3 県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）で 42.0%となっています。また、都道府県別の割合では、東京都が 21.4%、神奈川県が 10.0%、大阪府が 9.1%となっています。

【問い合わせ】

総合政策部総合政策課 電話：23-2115（直通）

「3010 運動」に、積極的に取り組みます！！

【取り組みの背景】

国の平成 25 年度推計によると、日本では年間 2,797 万 t もの食品廃棄物などが発生しています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 632 万 t となっています。この量は、世界中で飢えに苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量約 320 万 t（平成 26 年）の約 2 倍にも相当し、日本の国民一人当たりで換算すると、茶碗約 1 杯分（約 136 ㍉）の食べ物を毎日捨てている「もったいない」状況にあります。

【食品ロスの発生場所と 3010 運動の着眼点】

食品ロスは、家庭や食品メーカー、食品卸しや小売、飲食店等、食品を扱う様々な場所で発生しています。

本市ではこの中でも、主に会食や宴会で発生する食品ロスに着目。市内で開催される宴会等では、乾杯と同時に自席に戻らず出された料理に手をつけないうまま、食品ロスを発生させる行為も目にする事から、長野県松本市や佐賀市等が既に取り組んでいる「3010（さんまるいちまる）運動」を参考に、飲食店や来店客に分かりやすく運動の意義と要点を訴え、食品ロスの抑制に取り組めます。

【取り組みの要点：3010 運動 3 力条】

- ①注文の際には、適量を注文する
- ②乾杯後 30 分間は席を立たずに、料理を楽しむ
- ③終了前 10 分間は自分の席に戻り、再度、料理を楽しみ、食べ残さない


【今後の取り組みについて】

- ・広報都城 5 月号に特集を掲載
- ・市 HP や公式 FB で協力を依頼
- ・ポスターやチラシをホテルや飲食店、宴会場等に配付、啓発の協力を依頼
 - ポスター A2（カラー） 1,000 枚
 - ポケットティッシュ 1,000 個
 - 箸袋 50,000 枚
- ・市内で配付されるフリーペーパー等に運動の記事の掲載を依頼
- ・忘新年会シーズンを前に、MRT ラジオや BTV ケーブルテレビでの市政情報番組で運動への取り組みを呼びかける

【問い合わせ】

環境森林部環境業務課 電話：24-5560（直通）

残さず食べよう！

さんまる いちまる 

30 10 運動

会食、宴会席での食べ残しを減らす運動です。

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後**30分間**は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前の**10分間**は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

日本のもったいない状況

- ・日本では、本来食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる食品ロスが年間500万～800万トンにも上ります。
- ・日本の米年間収穫量と食品ロスが同じくらいの量になります。
- ・一人当たり1年間でお茶碗164杯もムダにしている計算になります！

「もったいない」を心がけ、食品ロス削減の取組みに御協力ください。

残さず食べよう！



さんまる

30

いちまる

10

運動

会食、宴会席での食べ残しを減らす運動です。

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後**30分間**は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前の**10分間**は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

日本のもったいない状況

- ・日本では、本来食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる食品ロスが年間500万～800万トンにも上ります。
- ・日本の米年間収穫量と食品ロスが同じくらいの量になります。
- ・一人当たり1年間でお茶碗164杯もムダにしている計算になります！



「もったいない」を心がけ、
食品ロス削減の取組みに御協力ください。

いざ実践！！3010運動！！

お食事前の注文チェック事項

★事前にお店に相談して適量を注文しましょう！！

☑参加者の構成は

性別や年齢などの参加者の構成を伝えましょう。

☑飲み物は

「ソフトドリンク」、「アルコール」など、飲み物によって食べきれる量や料理の種類が変わってくると思います。ドリンクも考慮して注文しましょう。

☑料理は

「揚げ物を少なめに」「野菜を多く」「さっぱりした料理がいい」など参加者の好みにあった料理を考えて注文しましょう。

☑量は

「たくさん食べる」「いっぱい飲むから料理はつまみ程度」「おいしいものをちょっと」など食べきれる量を考えて、お店に相談しましょう。

宴会開始後声かけチェック事項

☑あいさつで

食べ物への感謝やもったいないの気持ちを持って3010運動を実践しましょう。開始30分間と終了10分前には自分の席で残すことなくお料理を楽しみましょう。

☑開始30分後

それでは30分たちましたのでご自由に親睦を深めていただいけっこうです。お開き10分前になりましたら今一度声をかけますので、その際は自分の席に戻りお料理をお楽しみください。

☑終了10分前

それでは、終了10分前になりました。自分の席に戻られお料理を楽しみましょう。

ポイント

- ◇温かい料理は温かいうちに、冷たい料理はつめたいうちに
- ◇料理がたくさん残ってるテーブルから少ないテーブルにおすそ分け
- ◇もったいないの心で食べきりましょう

泉佐野市と「特産品相互取扱協定書」を締結

【締結の経緯と目的】

「日本一の肉と焼酎」をはじめ、自然と伝統文化が息付く特産品の認知度向上に取り組んでいる本市と、ふるさと納税の躍進に加えて、「泉佐野産商品化プロジェクト」等の特産品の普及に取り組む大阪府泉佐野市との共通点を生かし、両市の特産品についてそれぞれの地域から、広く全国に情報発信するため協定を締結します。



【締結式】

◎日時

平成 29 年 5 月 10 日（水） 午前 10 時 30 分～

◎場所

本市秘書広報課前会議室

◎都城市の出席者

池田市長、吉永総合政策部長、中島商工観光部長、
福永専務（都城圏域地域地場産業振興センター）

◎泉佐野市の出席者

ちよまつひろやす

千代松大耕市長、岡本祐一政策監（兼）生活産業部長

島田純一泉州タオル担当参事、阪上博則成長戦略室長、

木ノ元誠成長戦略室成長戦力担当主幹、中嶋洋介泉佐野産（もん）担当主幹（兼）農水係長



【泉佐野市とは】

大阪市と和歌山市の間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然が自慢のまち。商・工・農・漁業が盛んでしたが、関西国際空港の開港による人口増加にともない、商業・サービス業が一層盛んとなっています。市の面積は約 56.51km²、人口は約 101,000 人、世帯数は 45,000 世帯で、瀬戸内式気候に属するために、降水量は比較的少なく温暖な気候です。

◎主な物産品

泉州タオル、水なす、泉州たまねぎ、泉州地酒、泉州野菜など

【今後の活動】

関西国際空港内やりんくうタウン、りんくうタウン駅構内にある、泉佐野市の販売ブースで本市の物産販売や、各施設で本市のイベントを開催する等、より対外的PRを強化します。また、本市で開催するイベントや販売ブース等でも同様に、泉佐野市の物産販売等を行い、相互に連携を図りながら対外的なPRを強化します。

【問い合わせ】

商工観光部みやこんじょPR課PR担当 電話：23-2615（直通）



「ぼんちくん音頭」が完成！！

今回、本市PRキャラクター兼PR部長「ぼんちくん」にちなんで、「ぼんちくん音頭」が完成しました。

六月灯や夏祭り、学校や地域のイベントなどで役立ててもらうとともに、都城の元気を発信します！

【ぼんちくん音頭ができるまでの経緯】

ぼんちくんの作者今村幸一さんが、ぼんちくんがPRキャラクター兼PR部長に就任した当時、東京で音楽関係の仕事をしている弟（広昭さん）に相談。ぼんちくンを盛り上げようと元気いっぱいのぼんちくンをイメージして、広昭さんが作詞・作曲しました。



【ぼんちくん音頭の特徴】

◎地元の子どもたちが元気に歌います！

今回、一緒に盛り上げてくれたのが、歌い隊☆子どもあさぎりを中心に結成された30人の子どもたち。2月に総合文化ホールで上演された、人形劇団クラルテ「火の鳥」と共演した子どもたちが、方言を交えたぼんちくん音頭を元気よく歌います。



◎誰でも楽しく踊れます！

ぼんちくんの決めポーズや盆踊りらしい手拍子などの動作を取り入れ、愛くるしいぼんちくンを表現。また、子どもだけではなく高齢者の皆さんも一緒に踊れるように、椅子に座った状態でも踊れる振り付けも用意しました。



【ぼんちくん音頭CD等の配布】

ぼんちくん音頭の音源CDと映像DVDは、各地区公民館や市内の小・中学校、保育所、幼稚園などに配布します。また、動画については、市ホームページや市フェイスブックでも見ることができます。

【あやめ祭り会場で、ぼんちくん音頭を初披露！】

日時：4月29日（土曜日） ※出演予定時間 9時40分～

場所：早水公園（あやめ祭り会場）

※当日は、ぼんちくんが、みやこんじょ弁ラジオ体操第1の実演後、年見町公民館の皆さんと一緒に「ぼんちくん音頭」を踊ります

【問い合わせ】

商工観光部みやこんじょPR課 電話：23-2615（直通）